

一般社団法人 日本心臓病学会 2025 年度事業計画

(2025 年 8 月 1 日～2026 年 7 月 31 日)

【本会の目的】

定款 第 3 条 本会は、心臓血管病学研究の推進とその成果の臨床的普及をはかり、これを通じて学術文化の発展と国民の福祉の向上に寄与することを目的とする。

1. 学術集会の開催

(1) 第 73 回日本心臓病学会学術集会

予定通りの会期で、現地開催の予定で準備を進める。オンデマンド配信は行わない。

会期：2025 年 9 月 19 日（金）～9 月 21 日（日）

会場：高知市文化プラザかるぽーと、高知県立県民文化ホール

会長：北岡 裕章（高知大学医学部 老年病・循環器内科学 教授）

テーマ：臨床心臓病学における真理の探究

(2) J-NECS 提案企画セッションの実施

当会の若手グループ J-NECST の提案を受け、若い臨床家を応援する目的で二つの Award を実施する [Case Presentation Award および Retrospective Research Award]。Case Presentation Award は書類選考で 12 編を選出、学術集会において予選・決戦のセッションを開催し、最優秀、優秀を選出し表彰式で発表、副賞を贈呈する。

Retrospective Research Award も同様に、学術集会での口頭発表を経て最優秀・優秀を選出し表彰式で発表、副賞を贈呈する。

(3) 印刷物・制作物

電子抄録を制作し開催前に公開、プログラムは会場で参加者に配布する。

2. 会誌及び図書の刊行

(1) 『JOURNAL of CARDIOLOGY』刊行

Vol.86～87 No.1～6 を月刊のオンラインジャーナルとして発行する。投稿原著論文（査読有）および依頼論文（Review, Editorial）を掲載する。

また 1 年間に掲載された原著論文より、上田賞（最優秀論文）、優秀論文を選出し顕彰する。

(2) 『JOURNAL of CARDIOLOGY Cases』刊行

Case Report のみ掲載する専門誌（査読有）。Vol.32 No.1～6～Vol.33 No.1～6 をオンラインジャーナルとして発行する。

1 年間に掲載された Case Report より、最優秀賞・優秀賞各 1 編を選出し、顕彰する。

3. 研究、調査及び教育

(1) 教育セミナーの開催

1999 年の第 1 回開催以来、継続して開催されている。2021 年より web+オンデマンド配信での開催となり、本年度も引き続き web を利用した開催形式とする。

[ファンダメンタル・コース] 2026 年 2 月 8 日 (日)

[アドバンス・コース] 2025 年 2 月 15 日 (日)

(2) 教育講演

学術・教育委員会では学術集会の「教育講演」および全般のプログラム提案を行ってきたが、今後は「主催者側からの依頼があった場合」に対応することとなった。第 74 回学術集会からはすでに教育講演の依頼を受けている。

(3) 委員会企画のセッション

第 73 回学術集会プログラムとして以下を企画、実施する。

- ・国内交流委員会企画セッション (国内 4 団体とのジョイントシンポジウム)
- ・国際交流委員会 ACC-ACC ジョイントシンポジウム
- ・教育委員会「Physical Examination を学ぶ」
- ・チーム医療推進委員会企画セッション
- ・ダイバーシティ部会セッション
- ・J-NECST 企画セッション

4. 内外の関係学術団体との連絡及び調整

(1) 日本循環器連合への参画

(2) ACC との交流活動

(3) 国内学会とのジョイントシンポジウム

第 73 回学術集会での日本心臓血管外科学会、日本小児循環器学会、日本心臓核医学会、日本循環器心身医学会、心筋生検研究会、日本心臓リハビリテーション学会とのジョイントシンポジウム開催に向けて各学会と調整を図り、準備を進める。

(4) そのほか下記団体に参画し活動する。

- 内科系学会社会保険連合
- 禁煙推進学術ネットワーク
- 補助人工心臓治療関連学会協議会
- 心臓移植・心肺同時移植関連学会協議会
- 臓器移植関連学会協議会

5. その他本会の目的を達成するために必要な事業

(1) 顕彰事業

〔栄誉賞〕循環器領域の進歩と発展に多大の貢献をなした業績を顕彰する。学術集会において受賞記念講演が行われる。

〔教育貢献賞〕臨床心臓病学の教育活動に貢献した会員（年2名）を顕彰する。学術集会において受賞記念講演が行われる。

〔上田賞〕Journal of Cardiology に掲載された原著論文より選出された最優秀論文を顕彰する。

〔優秀論文賞〕上田賞選考で、2位・3位の論文を優秀論文として顕彰する。

〔Young Investigators Award〕3月31日時点で40歳未満の会員が執筆した未発表の原著論文が対象。第73回学術集会会期中に口頭発表での最終選考を行い、最優秀賞1編、優秀賞4編を選出する。

(2) FJCC 会員の公募・認証

12月末締切で申請を受け付け、選考を行う。